

「違う目で見てごらん」

りんごの木は、2ヵ月前と変わらない様子で立っていた。

果実はひとつもついていない。荒涼とした大地に立つ、一本の木。

「なにも変わってないじゃん」思わずそう呟いた。

「そうかな」隣には、いつのまにか女の子がいる。

「みんながたたくさんのりんごをつけてくれたじゃない」

彼女の瞳には、僕が見逃しているなにかが映っているのだろうか。

目の前では、緑の葉が揺れているだけなのに。

「そんなにすぐには変わらない。だから、つづけていくんだよ」

女の子はりんごの木をそっと撫でた。まるで大切な思い出に触れるように。

「違う目で見てごらん。きっと、君にも見えるよ」

いたずらっぽく彼女が笑う。

「変化は、すぐには気づけないんだもの」

女の子だけに見えた、りんごの木。
あなたの目でも確かめてください。

参加方法

01 この新聞を壁に貼る又は
テーブルの上に置く

02 スマホのカメラで
QRコードを読み込む



03 再びスマホを新聞に向ける

